

ワケノクリニック 『就労支援』について

『就労デイクア』とは？

『就労デイクア』は、平日 5 日間継続して働く環境を設定し、『平日働き、週末休む』という、就職に近い訓練の場を目指します。

午前是个別業務として各々依頼された業務に取り組み、午後は 5 つの部署の中で“社会的なマナー”、“コミュニケーション”、“基礎的な技術”など目標や課題に合った訓練を行っています。就労プログラムや院内実習を通して、就労に必要な知識や能力が高まった方は、最終的に企業への就職を目指します。

就職後も定着支援を定期的に行い、フォローしていきます。

『就労プログラム』では実習→就職→定着支援と最初から最後までフォローします。細かい段階を経て、少しずつのステップアップを目指していきます。



就 労 支 援 の 流 れ

ワケノクリニックでは、就労デイクア開始時に心理検査（WAIS）を行っております。結果をもとに自身の特徴や課題を振り返りながらリハビリの目的を明確化していきます。

1 就労デイクアに参加する

デイクアへの通所、プログラムへの参加が安定して、就労にむかいたい気持ちが出てきたら、担当スタッフとの面談を通して就労デイクアに参加します。始めから 5 日間全ての参加でも、ひとつだけの参加からでも OK です。午前のみなど自身のペースで、担当スタッフとも相談しながら考えます。

2 就労プログラムのチェックリスト項目をこなす

全体を通しての基本的な就労態度に関するチェックリスト及び、各就労プログラムにて、活動内容に沿ったチェックリストがあります。内容を確認し、自分が出来るようになったと感じたらチェックをして就労プログラムの担当スタッフにチェックしてもらいます。全ての就労プログラムにて様々な環境の中で社会人としての基礎的な体力や就労態度を身につけていきます。

3 すべての就労プログラム参加し、出来る事を増やす

担当スタッフとの面談を繰り返し、チェックリストの項目をこなしながら、出来る事を増やしていきます。自分の得意、不得意を見つけるために様々な環境での訓練をする目的で、最終的には週 5 日すべての就労プログラム参加を目指して頂きます。すべての就労プログラムに参加し、ある程度チェック項目が出来るようになってきたら、担当スタッフと相談しながら実習に進んでいきます。



4 グループ内での実習

主にワーキングデイクア、高齢者デイクア（柊・榎・楓）となります。実習先の職員とも面談をしながら実習内容、時間の設定を行います。就労プログラム内で課題の訓練も並行して行うために午前中からの開始が基本となります。担当スタッフとの振り返りを継続させ、課題の抽出をしながら徐々に実習時間も増やし、日中通して訓練していきます。

5 外部での実習（インターンシップ）

グループ内での実習を通して、就労に向けての力がついてきたら、外部機関（就労支援センターやハローワークなど）と連携をしながら、自分に合った仕事を見つけるためにも実習を行っていきます。*希望職種により、実習を受け入れていない企業もあります。

6 就職

実習、振り返りを通して自分に合った仕事を見つけ、外部機関と連携しながら就職先を見つけます。

7 定着支援

就職後も長く勤められるように担当スタッフと振り返りをし、困ったことが無いか確認をします。

